

伊賀市 「事務事業評価」 結果総括シート〔2次評価シート〕

(4) 評価実施年度	平成 21 年度
(5) 評価責任者職名	企画振興部長
(6) 評価責任者氏名	堂山 敏夫
(7) 評価者	

(1) 政策	コード 24	名称 (1)市内外を移動しやすいまちづくり
(2) 基本施策	コード 49	名称 ①広域的な道路・交通環境を整備する
(3) 生活課題	49	市内への交通アクセス手段があり、地元から通勤通学ができる

(9) 継続・新規 (21,22,23,24)	コード	(10) 事務事業名	コード	(11) 担当部課名	(12) 事業費(千円)			(13) H22投入人員		主な成果(新規事業の場合は目標)	指標の数値		(17) 指標の単位	(18) 評価類型	1次評価結果					(24) 方向性	
					H20 決算額	H21 予算額・補正要求額	H22 要求見込額	人	人件費		(14) 指標名	(15) 20年度(実績)			(16) 22年度(目標)	個別評価					(23) 総合評価
																(19) 必要性	(20) 有効性	(21) 達成度	(22) 効率性		
継続	104	鉄道網整備促進事業	40100	企画調整課	4,566	4,998	4,445	0.5	3,600	乗車券等販売手数料等	1455	1550	千円	I	4	3	3	3	A	現状維持	
継続	106	関西本線電化促進事業	40100	企画調整課	927	1,095	1,106	0.4	2,880	要望等活動回数	4	4	回	I	4	4	4	3	A	現状維持	
継続	108	伊賀線活性化促進	40100	企画調整課	70,254	125,572	133,140			経常損失額	△308	△270	百万円	I	4	3	3	3	A	拡大	

(25) 1次評価修正有・無	(26) 修正点	(27) 修正の理由	(28) 改革改善案修正の有・無	2次評価			(33) その他の改革改善点について
				(29) 修正点	(30) 優先度区分	(31) 方向性	
					3G	c	佐那具駅運営業務は市営駐車場管理を含め、評価を行うよう検討する。 草津線複線化に向けた事業に参画することは、関西線との優先度を検討する必要がある。
					2G	b	JRの参画できる利用促進事業の展開を図る。
					1G	a	老朽車両の更新に対する支援を行い、利用者の増進により伊賀線の存続を図る。 伊賀鉄道運営補助は債務負担行為